

部会名

男女平等部会

政策提言

政治における女性の参加、閣僚の2分の1を女性とすることについて

現状と問題点

女性が積極的に経済活動や政治活動に参加し、意思決定に参画しているかを測る「GEM（ジェンダー・エンパワメント指数）」は（2009年現在）109カ国中57位であり、また世界経済フォーラムが発表するジェンダーギャップ指数は世界で101位と不名誉な状態である。総論1記載の女性差別撤廃委員会の勧告でも「学術分野における女性含め女性の雇用及び政治的・公的活動への女性の参加に関する分野に重点を置き、かつあらゆるレベルでの意思決定の地位への女性の参加を引き上げるための数値目標とスケジュールをもった暫定的特別措置を採用するよう、締約国に要請する。」と指摘されている。特に国会議員下院（衆議院）での女性の割合は、2009年8月31日現在、11.3%に過ぎず、世界187カ国中123位である。

CEDAW 勧告での女性の政治参加の課題を率先して取り組むことを求める。そのためには各政党に率先して男女平等を実施してもらおうべく、党のマニフェストに政権を担ったときは、閣僚の5割を女性にするとの公約を明記することを求める。また、そのためには女性の候補者の積極的な擁立及び、将来的には女性が選挙に立候補しやすい選挙制度を求める。

また、国政だけでなく、地方議員での女性割合の増加、各種政策決定場面への女性の増加について具体的で効果的な政策を求める。

政策提言の責任者[所属団体・役職・氏名]
市民キャビネット男女平等部会 鈴木ふみ

[メールアドレス]allies@crux.ocn.ne.jp
[電話番号]047-376-6556